

会員数 59名 出席者50名・欠席者8名・免除会員5名
欠席者 有家・麻田・和泉享・飯間・松山・中野昌・夏見・大西和-会員

前々回出席率 86.00%(7/9)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎
幹 事 陶国 栄帰
会報委員長 福田 洋子

お知らせ

8月のプログラム

6 (No.1)-客話
13 (No.2)-休会
20 (No.3)-職場例会
27 (No.4)-会員卓話

他RC例会変更

丸亀東 8/11 休会
坂出東 8/12 休会
8/26 夜間例会
坂出 8/11 休会
善通寺 8/12 休会
8/19→8/11 夜間例会

ニコニコBOX;

よいことがありました

秋山憲夫君

卓話を終えて

桑村君

ネームプレートチェーンをありがとう

ございました。これで服に穴があかなくなりました。

藤井君

<ニコニコ会計累積/¥37,000>

がんばるBOX;

早退します

大山君

なんとなく

山内光君

会員卓話お疲れ様でした

岡田君

100%出席いただいて

四宮君

新会員の卓話を聞いて。がんばる

竹内君

100%出席今年も頑張ります

増田君

<がんばる会計累積/¥92,000>

■会長挨拶

皆さん、こんにちは。

コロナに安楽死にと、あまり良い話がないのですが、これからの夏を乗り来る新しい電気製品の話を少し、ここ1,2年よく街角でも携帯扇風機を持った人を見かけるようになりました。そう扇風機の次といえば、冷房機エアコンです。ということで、ウエラブルエアコンの誕生です。

おそらく今一番売れているであろう携帯エアコン、価格は2万円から3万円くらいです。重量は333グラムでモバイルバッテリーを繋がないといけません。連続で4、5時間ほど持つそうです。

次に、富士通のコモドギアです。こちらは価格はレンタルのみで月に1万円だそうです。この機械は、重量は170グラムで、冷たい風を送るのではなく、3箇所がペルチェ素子で冷たくなり頸動脈を冷やすシステムです。このコモドギアをネットで本部が管理することも出来て、着けている人の体温とか脈拍とかを見ながらコントロールすることもできるそうです。主に、外で工事作業や農作業する人の健康管理と温度管理をすることを目的に作られたそうです。個人としてレンタルは難しいですが、会社として、外で作業させるのに支給するのはありかもしれません。

次に、ソニーのウエラブルエアコン「レオン ポケット」です。首筋に忍ばせて、シャツの中を冷やします。スマホで、冷房暖房の切り替え、強さの切り替えができます。元々、ソニーの社風らしく自由闊達で、社員二人が発想してクラウドファイディングで6000万円集め、一般販売になったという優れものです。価格は14300円。重さはわずか89グラム。これもペルチェ素子で、温度調節してノートブックパソコンのCPUを冷やすファンを改良して風を送る装置です。専用のインナーシャツ(1800円)に入れて、ワイシャツを着る→スマホでオン→背中が冷える→外に出る。

そんな、ちょっと夢のような家電でした。運転時間は2,5時間なので、通勤用かもしれません。僕的には、出張のときは外を移動のためよく歩くので、その時のために「これは欲しいな」と思いました。

■理事会報告

①熊本豪雨災害支援金について

②今後のクラブ運営について

③クラブ計画書について

④アクリルのパーティーションについて

⑤女性会員用の名札チェーンについて

⑥8/20 MIMOCA職場例会について

■例会事業;会員卓話;桑村政宏会員・松村昌子会員

都市ガス業界における地震対策ですが、「設備対策」「緊急対策」「復旧対策」の3本柱となっております。四国ガスの「設備対策」ですが、各工場については現行の耐震設計指針に基づいて建設されており、災害時、対策本部となる各支店事務所については現在順次耐震性のある建物に建て替えを行っております。ガス管についても耐震性のあるものに順次入れ替えを実施しており昨年末の段階で97.2%の耐震化率となっております。

緊急対策ですが地震発生時の対応として、供給エリア内に設置の地震計の数値により行動基準が定められており、明らかに建物やガス設備に被害が発生していると認められた場合には、2次災害を防止するためガスの供給を停止します。ガスの供給を停止した場合の復旧の流れですが、お客さま宅のメーターガス栓を閉止し、ガス管の漏洩箇所を調査し修繕したうえで再度お客さま宅を訪問し、安全確認を行ないガスの供給を再開します。そのため早期復旧には多くの人員が必要となってきます。そこで復旧対策ですが、日本ガス協会組織をあげて応援派遣を早期に実施できる体制を確立しております。平成7年に発生した阪神淡路大震災では当該地域にガスを供給する大阪ガスは、主要設備には被害はなかったものの、導管の漏洩が多数発生し、約86万戸の供給停止をせざるを得ない状況になりました。ガス協会を通じて、直ちに弊社へも要請があり、救援隊を派遣いたしました。全国のガス事業者が被災地に集結し、最大時には155事業者、3712名。大阪ガスの復旧体制を加えると約9700名で作業にあたりました。この地震を教訓にガス管耐震化への取り組みはさらに強化されました。平成23年に発生した東日本大震災では供給停止戸数は東日本全体で約40万戸となり、救援隊を編成、全国の59事業者が仙台に集結し、最大時4600名体制で復旧を行いました。弊社も32名を派遣し、復旧作業にあっております。



2020.7.30
Vol.58
No4
(2798)

私は、丸亀市大手町で健康増進施設サンテ・ペアーレを運営しています。当施設は3階にクリニックがあり2階ではフィットネスクラブやカルチャースクール、学童保育の運営を行っています。1階には調剤薬局があり、グループ全体でお互いに連携しながら、地域の方たちの健康につながるサービスを提供することを目指しています。外観からはあまり想像して頂けないのですが、プールやジム、クリニック、障害児のリハビリ室もあり、広いホールでは子どもたちが運動出来るようになっています。



中でも特に、私自身が力を入れて進めていきたいと思っている事業の一つが、フィットネスジムでの運動指導です。70歳～74歳の人口に占める要支援・要介護認定者の割合は5.7%ですが、85歳以上になると、60%に達します。85歳を過ぎると何らかの支援を受けなければ、自立した生活を送ることが出来ません。この状況を改善するために、政府も2020年度からフレイル(要介護に至る手前の状態。虚弱を意味する)健診をスタートしました。ペアーレでは、例えば自分自身の運動機能低下を意識するため、大人でも年に1回退職測定を実施したり、リハビリスタッフと運動療法士が組んで、機能評価と改善に取り組むパーソナルトレーニングを実施したいと思っています。

もう一つの事業が、子ども向けの学童保育です。

ペアーレでは平成26年から放課後学童保育事業をスタートしました。私自身も3児の母であり、仕事をしながら子育てをする立場から、こんな学童があったらいいなと思うものを形にしました。現在は平日は35名超、サマースクールなどは70名を超える小学生が来てくれています。今年は残念ながら減少しています。

今の子どもたちが大人になった時の社会は、なかなか想像が出来ませんが、生きていく上で重要な知識を身につけ、自分と他者とどちらも大切に出来るような大人になって欲しいと思っています。